

■介護のデジタル中核人材養成研修、来月から開催 厚労省

- ・厚生労働省は、介護分野での「デジタル中核人材養成研修」を2024年10月～25年2月にオンラインで実施する。同省では、介護現場で活用できる各種ツールやアプリなどの演習と職場での実践を通して「現場の生産性向上の取り組みに必要な知識とスキルを体験的に学んでもらう」としている。
- ・この研修は、介護ロボットやICTなどを活用した介護現場での生産性向上の取り組みを推進できる中核人材を育成することが目的。勤務先の介護サービスの質の向上を実現するために業務改善と介護テクノロジーの導入に着手し、プロジェクトを継続的に推進することができることを到達目標としている。
- ・研修の対象となるのは、▽介護職以外の職種や法人本部の勤務などを含め介護施設・事業所などでの勤務経験が3年以上▽介護施設・事業所などで業務改善や介護テクノロジーの導入・運用に関わっているか、今後取り組みたいと考えている—のいずれも満たしている人。
- ・受講希望者は、日本介護福祉士会の研修管理システム「ケアウェル」を用いて申し込みを行う。その後、「事前課題」のウェブ動画視聴とオンデマンド動画受講（共に必須）を終え、3日間のオンライン授業と自職場での実践から成る「集合研修」を受ける。最後に確認テストを受け、学習の達成度を確認する。
- ・集合研修の初回は10月8日で、申し込みは10月1日まで。定員は1,500人（各セット150人程度）を予定している。

※詳細は下記の資料をご参照ください。

- 介護保険最新情報 Vol.1309 「令和6年度介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式「デジタル中核人材養成研修」の周知及び受講勧奨のお願い（令和6年9月13日）（厚生労働省老健局高齢者支援課）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001303905.pdf>